

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 23 日(2022.12.23)

【公開番号】特開 2022-97624(P2022-97624A)
【公開日】令和 4 年 6 月 30 日(2022.6.30)
【年通号数】公開公報(特許)2022-118
【出願番号】特願 2022-77869(P2022-77869)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 1 2 Z

A 63 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 15 日(2022.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、
その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、
その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備えた遊技機において、
前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくとも含む複数のうち 1 の前記有利遊技を決定する決定手段と、

少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、

30

前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よりも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、
前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、所定の演出態様を少なくとも含む所定演出を実行可能な第 1 演出実行手段と、

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記所定の演出態様を含まない前記所定演出を実行可能な第 2 演出実行手段と、を備え、

40

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待値が異なる構成であり、

前記遊技機は、

前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出を実行可能であり、

50

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したことに基づいて、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記所定回数以下の回数の範囲において実行可能であり、

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記判定手段による１の判定に基づいて前記有利遊技が実行される確率が同一となり、

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数に応じた特定表示が表示される構成であり、

前記所定の演出態様は、前記特定表示とは異なる演出態様であることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

パチンコ機等の遊技機には、抽選条件の成立に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能にすることで遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備え、前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくとも含む複数のうち１の前記有利遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よりも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、所定の演出態様を少なくとも含む所定演出を実行可能な第１演出実行手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記所定の演出態様を含まない前記所定演出を実行可能な第２演出実行手段と、を備え、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回

10

20

30

40

50

数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待値が異なる構成であり、前記遊技機は、前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出を実行可能であり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したことに基づいて、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記所定回数以下の回数の範囲において実行可能であり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記判定手段による1の判定に基づいて前記有利遊技が実行される確率が同一となり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数に応じた特定表示が表示される構成であり、前記所定の演出態様は、前記特定表示とは異なる演出態様である。

10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備え、前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくとも含む複数のうち1の前記有利遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よりも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、所定の演出態様を少なくとも含む所定演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記所定の演出態様を含まない前記所定演出を実行可能な第2演出実行手段と、を備え、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待値が異なる構成であり、前記遊技機は、前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出を実行可能であり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したことに基づいて、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記所定回数以下の回数の範囲にお

30

40

50

て実行可能であり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記判定手段による1の判定に基づいて前記有利遊技が実行される確率が同一となり、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数に応じた特定表示が表示される構成であり、前記所定の演出態様は、前記特定表示とは異なる演出態様である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】5 1 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【5 1 3 2】

1 0	パチンコ機（遊技機）	
6 4 r	右第1入球口（第1入球手段）	
6 7 c	中央スルーゲート（通過手段）	
1 6 4 0	第2入球口（第2入球手段）	
1 6 4 0 a	普通電動役物（可変手段）	
1 7 5 0 d	右誘導流路（特定流路）	20
S 2 1 5	第7実施形態における有利遊技実行手段の一部	
S 2 3 7	第7実施形態における <u>所定状態</u> 設定手段	
S 3 0 3 , S 3 0 7	第7実施形態における判定手段	
S 7 0 6 , S 7 5 8	第7実施形態における取得手段	
S 9 0 6	通過判別手段	
S 9 2 0	可変遊技実行手段	
S 9 6 9	抑制手段	
S 1 6 2 2	第7実施形態における <u>特定状態</u> 設定手段	
S 1 7 1 7	第7実施形態における <u>有利遊技</u> 実行手段の一部	
Z 2 2 0	特典遊技実行手段	30
Z 1 3 9 1	遊技状態設定手段	

40

50